1月度「京都学ラウンジ ミニ講座」(開催報告)

平成31年1月31日 京都学·歷彩館 075-723-4835

京都学・歴彩館では、京都について学ぶ楽しみを広げる目的で、毎週木曜日に「京都学ラウンジ ミニ講座」を開催しております。この度1月10日(木)から1月31日(木)にかけて「あなたも知らなかったかもしれない鴨川"よろずな"世界」と題して、4回にわたり開催しましたので、下記のとおり報告します。

記

■ 日 時 平成31年1月10日・17日・24日・31日 いずれも木曜日13:30~14:00

■ 会 場 京都府立京都学・歴彩館 京都学ラウンジ

■ **参加者数** 42名(10日)、42名(17日)、

36名(24日)、48名(31日) 計168名

■ 内 容

講師 京都府立京都学•歴彩館 資料課 山本 哲

「あなたも知らなかったかもしれない鴨川"よろずな"世界」(全4回)

第1回 こんなにいたのか生きもの達 第2回 鴨川の源流域を訪ねて

第3回 四季を彩る風景と憩いの人々 第4回 鴨川の今昔

■ 講座の様子

鴨川・・・。京都に住む人ならば誰もが知っている淀川水系の一級河川である。1月の ミニ講座では、休日にカメラ片手に鴨川探訪をするという講師から、皆が知っている鴨川 の知らなかった一面について話があった。大雨の後、オオサンショウウオが上流からなが されてくることは度々ニュースで報道されるが、鴨川には驚くほどに多様な生き物たちが 生活していた。河辺にたたずむサギ、上空から虎視眈々と食べ物を狙う鳶などの野鳥たち、 何かとお騒がせな生き物たちなど多くの写真と共に紹介された。

多くの生き物が集う鴨川の源流を求めて、講師が歩いた軌跡を紹介したほか、鴨川流域で見られる奇石、加茂七石も紹介された。鴨川は季節ごとに味わい深い風景を見せてくれる。そこに集まり憩う人々の様子なども紹介された。現在、我々が目にし、馴染みとなっている鴨川の風景がどのような歴史的背景をもって形作られてきたのかについても話が及んだ。「目をつぶればそこに浮かぶ鴨川の景色が少し変わった。鴨川再発見の散策にいきたい」という参加者の声も聞かれた。

会期中、京都学ラウンジでは加茂七石を展示したほか、「明治10年6月鴨川大洪水の 記憶」と題したパネル展を開催した。



